

安城市教育委員会の昭和26年度安祥文化のさとまつり「歴史のひろば展」歴史大賞に輝いた「二本木小学校6年 北浦 心」さんの作品を広く紹介するとともに、二本木八幡社とともに発展してきた二本木町内地区の歴史を振り返ることで、皆さんとともに助け合うことのできる「明るいまちづくり」に励みたいものです。

《写真画像で編集したため見づらい点は容赦願います。》

二本木小学校6年  
北浦 心

# 安城市二本木八幡社



知っていますか？パート2

## Q なぜ、調べようと思ったか？

神社を調べた時に、神社係という人達が神社をきれいにしている事を知り、神社係さんの仕事をくわしく知りたいと思ったからです。そして今年、神社の歴史と時代の出来事を調べて、去年よりも、もっとわかりやすく、誰が見ても分かるような立にして二本木小学校の生徒に二本木八幡社の事をもっと知ってほしいと思ったからです。



## Q 調べる方法

- 1 人に聞く。
- 2 実際に行って調べる。
- 3 本、インターネットで調べる。

Q 二本木八幡社の場所  
三河安城駅を西へまっすぐ  
徒歩10分程の場所にあります。二本木小学校からは、南東方向へ  
徒歩2分。

## Q 神社とは...？

その地域に住んでいる人々が安全で幸せな毎日を送れるようにお守りしてくださる神様がおまつりされている場所。神様に、おいのりをする場所です。

## Q 八幡社の歴史




明治7年(今から140年前)

三浦家は二本木に茶園を開きお茶を作り始めました。お茶作りには、たくさんのまきや灰 木の葉を使用する関係から火災難除(火事や火の事おこさないように)と、家運隆昌(家運がいつまでも幸せでありますように)をお祈りするため家のとなりの山林の中に、秋葉社(火災を防ぐ神様)と山神社(家の幸せの神様)と稲荷社(農業の神様)の3社をおまつりしました。その後、明治用水が開通し、(明治13年)その回りに人々が移り住み、いつしか二本木の人々もお参りするようになり、自然と村の人々の守り神となっていきました。

昭和24年(今から64年前)

二本木町内会(住みやすしい町をつくるための住民でつくる会)が設立された時に、神社係がおかかれて1部~8部(現在の町内の組)から4名がえがはれ、この4名が3社の管理運営などのすべてを取り行いました。三浦家より神社の六百坪の土地を借りうけて二本木八幡社がつくられました。昭和29年(1954年)10日に神社の神殿がつくられました。

歴史年表

年代	二本木八幡社の歴史	安城の歴史	日本の歴史
1874	三浦家は二本木に茶園を開き、お茶をつくり始めた。 	(1879) 明治用水工事始まる。 (1895) 通水。 (1924) 安城が日本のデนมールと呼ばれた。 (1938) 新美南吉が安城高岡中学校に赴任。(5年後に死去) (1945) 三河地震。	(1877) 西南戦争 (1894) 日清戦争 (1904) 日露戦争 (1914) 第一次世界大戦 (1920) 関東大震災 (1939) 第二次世界大戦 (1945) 終戦
1949	二本木町内会が設立される。神社係ができた。	(1952) 安城町が安城市へ。	(1952) テレビ放送始まる
1952	三浦家より社域となっている六百坪をゆずりうけてそこに二本木八幡社を立てた。	(1954) 第一回安城七夕まつり。	(1958) 1万円札発行 (1959) 伊勢湾台風 (1964) 東京オリンピック 東海道新幹線開通
1954	神殿造営。愛知県神社庁から、神社の施設として認められる。	(1967) 県営依佐団地一部完成。 (1971) 安城公園にシカ園、サルの家が完成。 (1972) 二本木小学校ができる。	(1970) 大阪万国博 (1973) 第一次石油危機
1966	15周年を記念して、拝殿を造営。 	(1980) 県道岡崎刈谷線バイパス開通。 (1988) 新幹線三河安城駅東海道本線三河安城駅開業。 (1997) デンパ-クオープン。	(1992) 第二次石油危機 (1998) 国鉄分営民営化JRスタート (1999) 豊田自動車・パルコ開業
1976	稲荷社を合祀(他の場所から移しまつる事)。神社の南側の土地を購入。25周年を記念して鳥居と御末社改築。  		



二本木八幡社マップ

**冬の様子**  
小学校の方から見た神社

**四手柱**  
二本木八幡社はいせん

**稲荷社(農耕の神)**  
10月例大祭

**社務所(昭和六十二年)**  
神社の事務所のような所です。(おみくじやおみくじの受け付けなど)

**こま犬(昭和三十四年)**  
ししや犬に似た、日本の想像上の生き物です。右の口をあけている方が高橋、左の口をどいている方がうんい象というそうです。

**とろろ(昭和五十年)**  
昔、お祭りをする時に明りがなかったので、ろうそくに火をつけて使っていました。

**新かぐら(平成二十四年)**  
地元のお祭りが、神事をこころする場所です。

**百度石(大正9年)**  
百回参りといいて日に百回参ると願いがかなうといわれているお参りする時に使われる石です。

**土手石**  
おはらするときに使われる石です。

**水洗池(大正五年)**

**鳥居(昭和五十年)**  
この鳥居は神様がいらっしゃる神聖な場所だということを示している。

**手水舎(昭和十七年)**  
手を洗い口をすすいで心をきよめる場所です。安城一本木八幡社の手水舎です。きれいな理由は、神社係の人がきれいにしているからです。

**さざ木石**  
国歌にも使われる石です。小さい石がたまって、大きくなつてきます。

## 神社係について

平成26年度二本木八幡社総代の豊田さんにお話をしました。

Q 豊田さんは、神社のどんな仕事をされているんですか？

A 神社の仕事には「総代」「副総代」「会計」として「神社係」の4つがあって神社係以外の3つが3役といます。その3役の中の総代もやっています。総代は、神社の護持(神社を大切に守り、いじっていく)活動の代表です。



Q 神社係は、何人いますか？

A 神社係は、23人います。それに3役をたして5全員で28人です。



Q どうやって神社係を決めるんですか？

A 神社係の決め方は、それぞれの町内の組が毎年1名ずつ順番に決めていきます。

Q 神社係はどんな仕事をされているんですか？

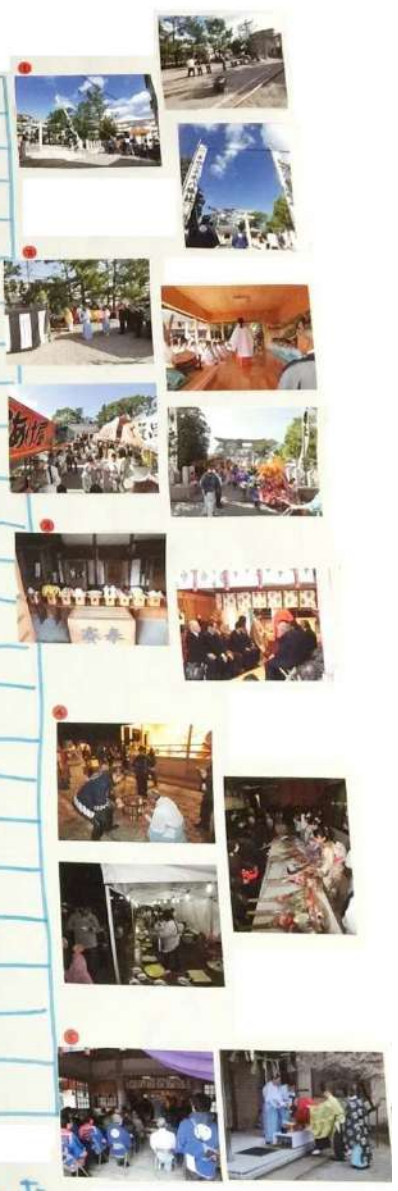
A ずっと歴史が続いているので、それを守って年中の行事をしています。

Q 神社の清掃は年に何回しているんですか？

A 月の最初の日曜日が「月次祭」という日でその時に清掃したり、1.2年に1回は、神社内の高い木などのせんでいをしていきます。



月	神社係お仕事表
3月	神社係初合わせ
4月	4月度 月次祭 / やうじ
5月	5月度 月次祭 / やうじ
6月	6月度 月次祭 / やうじ
7月	7月度 月次祭 / やうじ
8月	8月度 月次祭 / やうじ
	神楽保存会総会
9月	神楽練習開始
	9月度 月次祭 / やうじ
10月	● 例大祭 準備 / やうじ
	● 例大祭 式典
	例大祭 後片付け
	例大祭 神楽反省会
11月	七・五・三祭り準備
	七・五・三祭り / やうじ
	● 新穀感謝祭 / やうじ
12月	元旦祭奉納 神楽練習開始
	● 越年祭・元旦祭 / やうじ
1月	越年祭・元旦祭 後片付け
	女子33歳開運厄払い
	● 祈念祭 / やうじ
2月	神社係研修旅行
3月	3月度 月次祭 / やうじ

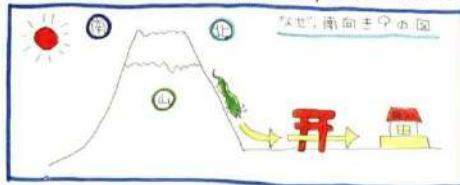


## 疑問に思った事を本・インターネットで調べてみた

ほとんど

Q 神社の鳥居の向きが南なのはなぜ？

A 神社には昔から風水(占いのようなもの)が取り入れられていて、風水では「龍みやく」と言われる強いパワーが山の頂上から北へ流れると考えられているため、北へ流れていく龍みやくのパワーを得るために神社も鳥居は南を向いているものとされているそうです。



Q 神社でよく見かけるあのなわはなに？

A あれは「しめなわ」といいます。しめなわは悪い事をはらう力があるそうです。なのでしめなわは、た内側には、きよらかで、神せいな場所だということを表しているそうです。



神社の参道はなぜ砂利敷きの？

A 玉砂利の「玉」とは「たましい」と同じ意味があり、「美しい」「宝石」「大切な物」という意味があるそうです。だから玉砂利は、「たましい」のこもった「美しい」「宝石」のような特別な石なので神社にひかれて



神社はどうして木がたくさんはえているの？

A 日本では昔から山・川・火などの自然のものには「精霊力」として人間には無い強い力がやどっていると考えられているそうです。特に神社の木は大切にされ、むやみに切りぬる事はないからだそうです。



南側から見た神社

## まとめ

分かった事... 神社系の1年間の仕事の内谷。二本木八幡社が立ったころ安城ではどんな出来事があったか。去年、分からなかった黒い石の事。神楽保存会の人達がいつ活動するか。明治用水のおかげで人が増えている二本木があるという事。

思った事... もっとたくさんの人に八幡社の事を知ってほしい。

最後に... 一人でやるには資料がなくとも大変だったけどみなさんの協力のおかげで"が"完成する事ができました。昨年、資料提供お話を聞かせていただいた元総代のあまきさんコミュニティーセンターの方々、資料を提供していただいた八幡社の横にある美容院の店長神楽にかんする資料提供していただいた高橋きよみさん。今年は資料提供とお話を聞かせていただいた総代の豊田さん写真提供していただいた辻本りん子さんみなさん本当にありがとうございました。

### 参考資料

本「安城いまむかし」「二本木町郷土史」「二本木町話」「神社社入門」「神社のしきたり」「総代必携」  
インターネット「全国の神社歴史旅行」「ヤフー知恵袋」「神社のあまこ木豆知識」  
新聞「中日新聞(2012.9.13)」